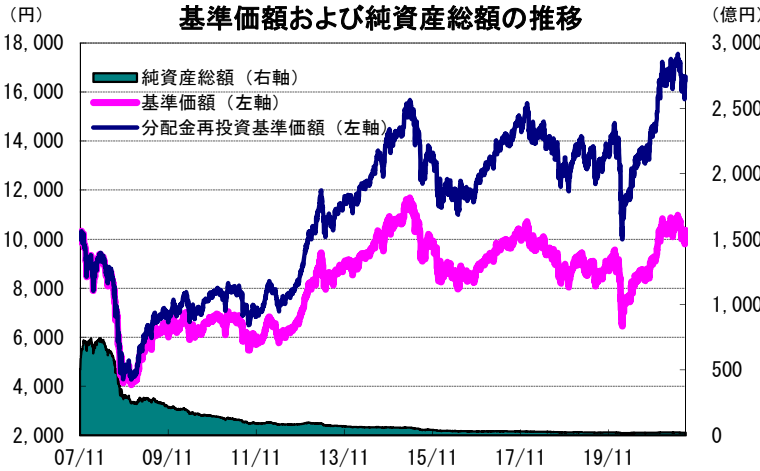


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2021年08月31日



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	10,369円
純資産総額	19.71億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.2%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	2.3%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)

基準価額変動金額		255円
内訳	株式等	270円
	アジア太平洋地域	19円
	中東地域	28円
	為替	-62円
	その他	-62円

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	1.56%	-3.03%	-1.95%	21.81%	17.91%	66.27%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

分配金実績(税引前)

決算期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	19/9/10	19/11/11	20/1/10	20/3/10	20/5/11	20/7/10	20/9/10	20/11/10	21/1/12	21/3/10	21/5/10	21/7/12
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	30円	30円	30円

分配金累計	直近12期計	設定来合計
	495円	3,675円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	台湾	28.5%	95.4%
	中国	17.5%	
	香港	14.4%	
	オーストラリア	12.8%	
	その他	22.2%	
中東	UAE	1.8%	2.4%
	サウジアラビア	0.6%	
現金等	-	2.2%	2.2%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	台湾ドル	29.1%
2	香港ドル	29.0%
3	オーストラリアドル	13.1%
4	韓国ウォン	7.0%
5	インドルピー	6.9%
	その他	14.9%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	30.1%
2	金融	20.0%
3	一般消費財	16.6%
4	コミュニケーション	11.0%
5	資本財	7.6%
	その他	14.7%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2021年08月31日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	1.45%	-2.91%	-1.82%	21.01%	18.09%	228.94%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	32,894円
純資産総額	0.35億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	90.8%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	9.2%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			471円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	534円
		中東地域	37円
	為替		55円
	その他		-155円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。
 * 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11	20/11/10
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	台湾	28.5%	95.4%
	中国	17.5%	
	香港	14.4%	
	オーストラリア	12.8%	
	その他	22.2%	
中東	UAE	1.8%	2.4%
	サウジアラビア	0.6%	
現金等	-	2.2%	2.2%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	台湾ドル	29.1%
2	香港ドル	29.0%
3	オーストラリアドル	13.1%
4	韓国ウォン	7.0%
5	インドルピー	6.9%
	その他	14.9%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	30.1%
2	金融	20.0%
3	一般消費財	16.6%
4	コミュニケーション	11.0%
5	資本財	7.6%
	その他	14.7%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2021年08月31日

組入上位銘柄

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	eMemory Technology Inc		台湾	情報技術	7.9%	0.9%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	7.4%	1.6%
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.3%	1.8%
4	MediaTek Inc		台湾	情報技術	7.1%	5.6%
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	6.0%	1.9%
6	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション・サービス	5.2%	0.4%
7	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財・サービス	4.2%	0.8%
8	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	3.7%	1.0%
9	Transurban Group		オーストラリア	資本財・サービス	3.4%	3.3%
10	momo.com Inc		台湾	一般消費財・サービス	3.4%	1.0%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
 * 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
 * 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	eMemory Technology Inc		台湾	力旺電子[eメモリー・テクノロジー] (eMemory Technology, Inc.)は、ロジック不揮発性メモリー技術を研究開発し、同社の知的財産を、世界各国の半導体メーカー、集積デバイスメーカー(IDM)、ファブレスデザインハウスなどにライセンスを供与。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股[AIAグループ] (AIA Group Ltd.)は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セムコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
4	MediaTek Inc		台湾	聯発科技[メディアテック] (MediaTek Inc.)は、無線通信およびデジタルマルチメディア・ソリューションのファブレス半導体メーカー。無線通信、高解像度テレビ、光ディスク、DVD、ブルーレイ製品向けのSOCシステムソリューションを提供する。
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	サムスン電子 (Samsung Electronics Co., Ltd) は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。

中東地域

中東	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
 * 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
 * ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。
 * P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことであり、中東は全組入銘柄の概要です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2021年8月31日

■市場環境

《アジア株式》

当月、アジア株式市場のリターンはまちまちでした。日本を除くアジア太平洋市場に使用される一般的な指数であるMSCIアジア太平洋(日本を除く、米ドル建て)指数は、上昇して月を終えました。

中国ではオンラインゲーム、フードデリバリーサービス、クラウドデータなどに関する追加政策が発表され、規制に関する懸念が引き続き強まりました。投資リスクと投資機会の両方を注視する投資家にとっては、中国の「共同富裕(貧富格差の解消)」政策が新たな注目の的となっています。

中国以外では、財政支援とコロナ禍後の経済回復に関する期待感の高まりから、インド株式市場が引き続き堅調に推移しました。

一方、ASEAN諸国では新型コロナウイルスの感染拡大が続き、都市封鎖や工場の閉鎖が相次ぎました。その影響は各国国内経済の成長鈍化に留まりません。世界各国に製品を供給する繊維、電子機器、自動車部品の工場が閉鎖されたことで、世界的なサプライチェーンの混乱が発生しました。トヨタ自動車(株)など世界的な自動車メーカー数社は、部品不足による生産縮小を既に発表しています。さらに、自動車向け半導体不足にも好転の兆しは見られません。当月はTaiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾、当ファンド組入銘柄)が他のファウンドリ企業に追随する形で、ついに製品値上げに踏み切りました。旺盛な半導体需要を満たすための多額の設備投資費用が利益率に与える影響を相殺するためだということです。

《中東株式》

当月、中東株式市場は概ね堅調に推移しました。新型コロナワクチン接種が進んで投資家心理が改善したため、経済の見通しは改善しました。

《通貨》

当月、多くのアジア通貨は対日本円で上昇しました。特にタイバーツ、インドルピー、マレーシアリングットなどが対日本円で上昇しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、プラスとなりました。

セクター別では、情報技術セクター、金融セクターなどがプラスに貢献し、不動産セクター、素材セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、台湾、オーストラリアなどがプラスに貢献し、韓国、香港などがマイナスに影響しました。

個別銘柄では、eMemory Technology(台湾/情報技術)、China State Construction International Holdings(香港/資本財)、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/情報技術)などが、プラスに貢献しました。一方で、Poya International(台湾/一般消費財)、Kweichow Moutai(中国/生活必需品)、Alibaba Group Holding(中国/一般消費財)などが、マイナスに影響しました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2021年8月31日

当月のパフォーマンスにマイナスに影響した銘柄の一つに、「China State Construction International Holdings」があります。

同社は中国国営のインフラ建設会社で、香港やマカオのインフラプロジェクトから長年にわたって強力かつ安定したキャッシュフローを創出しています。同社はさらなる成長と利益率拡大を求め、10年以上の年月をかけて中国本土に事業を拡大してきました。国営企業ではありますが、香港市場に上場しており、①財務の柔軟性(香港でも中国本土でも資金を調達可能)、②現地情報を生かした中国本土のプロジェクト選別能力という二つの差別化要因により、競合他社に対する優位を保っています。

同社の2021年上期の売上高は364億香港ドル(約5,100億円、前年比30%増)、純利益は35億香港ドル(約493億円、同21%増)でした。中国本土、香港、マカオにおける建設活動は、2020年の低迷から持ち直し、好調なモメンタムが続いています。新規契約獲得額は705億香港ドル(約9,900億円、同68.7%増)で、通期計画では1,400億香港ドル(約1兆9,700億円)以上となっています。利益率は引き続き安定しており、経営陣は通期で二桁の利益成長という目標を据え置きました。

一つ意外なのは、同社経営陣が中国本土事業からのキャッシュフローが2022年末までにプラスに転じると予想していることです。これは、2年をかけてキャッシュフロー管理とキャッシュサイクルが、より短いプロジェクトへのシフトを積極的に行ってきた成果だと言えるでしょう。キャッシュフローに関する懸念は、同社株価が過去数年にわたって低迷した主な要因であることから、今回の改善によって投資家の信頼感が回復し、バリュエーションの見直しに繋がると考えられます。同社株価は年初来で約40%上昇しています。

同社は、今後も引き続きプレハブ建設における優位性を生かして事業を展開して行くことでしよう。同社が有するモジュラー統合建築(MiC)技術は、いくつかのプロジェクトが高い評価を得たことで、この2年間で急速に認知度を高めました。中でも注目を浴びたのが、2021年1月に完工した香港感染控制中心(HKICC)です。この病院は136の陰圧室と816床の病床を備えています。同様の病院の建設には通常4年ほどかかりますが、同社のMiC技術を活用したことで、プロジェクトは4ヵ月で完了し、コロナ禍の中にあつて貴重な時間とコストを節約することができました。同社の能力は深圳市からも高評価を受け、MiCプロジェクト数件(学校と公共建築)が同社に発注されました。中国で環境に対する意識が高まるにつれ、同社は今後もMiC技術を活用し、プロジェクトの受注を拡大していくものと当ファンドは考えています。

同社の現在のバリュエーションはPER(株価収益率)が約5倍、配当利回りは5.5%です。キャッシュフローが改善し、高い技術力を生かした新規契約獲得が続くため、同社は当ファンドに魅力的なリターンをもたらすと考えられます。

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた「優良企業」を選別してまいります。優良企業で構成される分散ポートフォリオは投資家に長期的なリターンをもたらすと、当ファンドは考えます。

《中東株式》

中東市場の株価は引き続き堅調に推移しており、当月のリターンはプラスとなりました。

Saudi British Bank(サウジアラビア/金融)とFirst Abu Dhabi Bank(アラブ首長国連邦/金融)がいずれもプラスに貢献しました。経済の改善により貸倒引当金が減少したこと、融資残高が拡大基調に復したことから、銀行の株価が上昇しました。両行とも高い自己資本比率を維持しており、将来的な成長の基礎材料となりそうです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2021年8月31日

《通貨》

当月、アジア地域と中東地域の通貨は、対日本円で概ね上昇し、全体として当ファンドのリターンにプラスに貢献しました。

■今後の見通し

《アジア株式》

投資家の多くは中国の「規制リスク」を懸念していますが、当ファンドは中国の長期的な投資機会を引き続き楽観視しています。

習近平主席が提唱している「共同富裕」の目的は、企業の成長を制限することではありません。中国政府はむしろ、経済規模を拡大し、それをより多くの人々に再分配しようとしています。「三次分配」、すなわち①個人と企業が繁栄を続け市場で収益を上げる、②個人と企業がさらに慈善団体への寄付などを通じて社会に貢献する、③政府が税制と福祉制度を改革し恵まれない人々を支援するという三段階の分配を促進することで、それを実現しようというわけです。それが成功すれば貧富の差は縮小し、中産階級が大幅に増加し、消費と将来的な成長の原動力となるでしょう。

中国政府は今後も半導体、AI(人工知能)、ヘルスケア、電気自動車セクターなどを中心に、国内のイノベーション促進策を打ち出すことでしょう。当ファンドはこうしたセクターの「有望企業」数社に投資しており、中国政府の政策に関して市場の短期的な懸念があっても、これらの企業の長期的かつ構造的な成長力が損なわれることはないと考えています。

アジア地域には、引き続き長期的な投資機会が潤沢にあります。当ファンドの目的は、配当収入とキャピタルゲインを通じて長期的にリターンを上げることにあります。当ファンドのポートフォリオはバランスがとれており、短期的なマクロイベントやスタイル・ローテーションにも耐えることができると、私どもは考えています。当ファンドは、グロース株、バリュース株、その他の分類といった市場認識に関係なく、キャッシュフローまたは配当金を生成する能力がある企業のファンダメンタルズを重視しています。アジア経済の興隆とアジア企業の地位向上という長期的な投資テーマは健在で、今後も続くと考えられます。当ファンドの使命は、『「信頼できる企業」への投資を継続しつつ、当ファンドが選好する次の優良成長企業になる潜在性を示しているアジア地域の新興企業を継続的に探求すること』にあります。

《中東株式》

中東株式市場は、年初来堅調に推移しています。政府の景気刺激策とコロナ禍後の経済活動再開によって成長が下支えされるため、この勢いは継続すると考えられます。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続き楽観視しています。

《通貨》

通貨は短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点で見るとアジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さがみられることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、当ファンドは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。